

6 生きがい・社会参加

市民自らが主体的に社会参加に取り組み、社会的役割を持つことが生きがいや健康づくり、介護予防につながることから、一人ひとりが様々な担い手として地域で活躍できるしくみを整備する必要があります。

市の現状より、地域のつながり・生きがいや社会参加の創出にあたって、若い世代からの地域活動への積極的な参加や地域での仲間づくりを推進していきます。

課題

- ◎健康づくりに関するアンケートでは、地区組織活動の参加状況は、自治会・町内会が23.1%と一番高く、続いて健康・スポーツのサークルまたは団体が15.4%でした。
- ◎市民ワークショップから、「地区によって町の横のつながりがうすい」、「男性があまり外にでない」といった意見が聞かれ、地域によってはつながりが希薄であったり、男性の地域活動への参加が少ない傾向がうかがえますが、実態は未把握であり、今後把握が必要です。

長期目標

- ◎地域のつながりを大切にし、生きがいや役割を持って生活できるような環境づくりを推進します。

短期目標（6年間）

- ◎地域活動に関心を持ち、積極的に参加できるよう、きっかけづくりに取り組みます。

取り組み

【重点にすること】

○一人ひとりの取り組み（自助）

- 一人ひとりが趣味、学習、就労など生涯を通じた自己啓発を進めよう。
- 地域活動（公民館講座等）を知って、積極的に参加しよう。

○地域での取り組み（互助・共助）

- 地域活動やサークル活動、ボランティア活動への参加、呼びかけ（誘い合い）をしよう。

○市の取り組み（公助）

- ライフステージに応じた交流の場の周知や提供を行います。
- 乳幼児期を対象とし、子育てを通じた仲間づくりを推進します。
- 成人期から高齢期の男性を対象とし、各事業の中で生きがいづくりや仲間づくりの大切さを啓発します。また、ボランティア活動、公民館講座の場の周知や参加を呼びかけます。

【ライフステージ別】

柱		取り組み(○重点取り組み ◆既存事業)			
		妊娠期、乳幼児期	学齢期 (6～19 歳)	成人期 (20～64 歳)	高齢期 (65 歳以上)
地域活動への参加促進	一人ひとりの取り組み	・地域活動に積極的に参加			
	地域での取り組み	・声かけやあいさつの推進 ◆公民館講座等 ◆子育てサークル活動 ◆保育園幼稚園での活動	◆PTA 活動 ◆おやじの会 ◆ワクワク境港中学生職場体験 ◆地域行事への参加（公民館まつり、市民運動会、敬老会、福祉大会、介護看護体験、まつぼっくり夕涼み会等）	◆自治会・町内会活動	◆フレイルチェック ◆高齢者ふれあいの家 ◆シルバー人材センター等への就業支援
	市の取り組み	○地域活動の場の周知、参加呼びかけ		◆多様な学習機会の創出（公民館での社会教育講座） ◆ボランティア活動の促進	◆高齢者サークル活動支援 ◆高齢者ふれあいの家運営支援 ◆フレイルサポーターの養成

評価指標

☐ 評価項目
 ☐ モニタリング項目（毎年評価）

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
誰かのために何かをしたいと思う人の割合	(H29) 28.1%	—	増加	健康づくりに関するアンケート
子育てサークル数 子育てサークル参加者数	(H29) 3 団体 24 世帯	—	増加	子育て支援課
公民館講座数 公民館講座参加者数	今後調査	—	増加	
市民ボランティア登録者数	今後調査	—	増加	
ひみつきち協力者数	今後調査	—	増加	